

物品第23号 消防団用備品購入
仕 様 書

令和 4 年度

おいらせ町

この仕様書は、おいらせ町が購入する消防団用備品購入について必要な事項を定めたものである。

第1 品名および数量

1	防火衣（上衣）	6 着
2	防火衣用ベルト	6 本
3	防火帽ヘルメット	20 個
4	防火帽用しころ	20 枚
5	防火長靴	6 足
6	ケブラー手袋	23 双
7	背文字反射	6 個
8	石油交付金表示	1 式（品名 1 から 6 における物品）

第2 仕様

1 防火衣（上衣） FIRE LIGHT-FV 型 相当品

(1) 使用材料

ア 外衣生地

素材はメタ型アラミド及びパラ型アラミドとし、規格は表-1 外衣生地¹の全ての項目を満たすものとする。

種 類	テイジンエクスファイア デニム X27D20 (表生地) /X27D58 (配色生地)
混 率	メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 6%
色 相	ネイビー / オレンジ
組 織	2/1 綾織
重 量	250±15g/m ² 以下
加 工	撥水加工、撥油加工、帯電防止加工

イ 中衣生地

素材はアラミド 100%の生地にて P T F E 透湿防水膜をラミネートしたものとする。規格は表-2 中衣生地²の全ての項目を満たすものとする。

品 名	X29F20 ゴアテックスラミネート品
種 類	アラミド 94%、ポリエステル 6%で衣服内気候を考慮した構造（不織布不可）の生地にて P T F E 透湿防水膜（ゴアテックス）をラミネートしたもの。
組 織	二重織
透湿度	600 g/m ² /h 以上 (JIS L 1099 B-2 法)

ウ 補助材料

内袖口	アラミド 100%ニット
面ファスナー	幅 25 mm、38 mm及び 50 mm
反射材	ユニチカスパークライト S T - 1 4 N / 7 5 赤橙（シルバー/レッド 7.5 mm）
ファスナー	YKK ファスナー（止水ファスナー含む）

縫製糸 メタ型アラミド 100% 40 番
 パラ型アラミド（フィラメント） 30 番 反射テープ部分
 蓄光レーン シリコン製 反射布縫製糸保護用

(2) 規格

表-1 外衣生地

項 目		規 格	備 考
混用率		メタ型アラミド 94% パラ型アラミド 6%	JIS L 1030
染色方法		メタ型、パラ型アラミド共に原液着色	顕微鏡法
組 織		2/1 綾織	JIS L 1096
見掛け番手		タテヨコ共 20/2	JIS L 1096
密 度		タテ 61 本以上 (2.54 cm間) ヨコ 33 本以上 (2.54 cm間)	JIS L 1096
質 量		250±15 g / m ² 以下	JIS L 1096
引張強度		タテ 1000N以上 ヨコ 700N以上	JIS L 1096 A 法
引裂強度		タテ 85N以上 ヨコ 100N以上	JIS L 1096 A-1 法
燃 焼 性	残炎時間	1 秒以下	JIS L 1091 A-1 法
	残じん時間	1 秒以下	
	炭化面積	10 cm ² 以下	
染 色 堅 牢 度	耐 光	4 級以上	JIS L 1092
	洗 濯	(変) 4 級以上 (汚) 4 級以上	JIS L 8042 A-2 法
	汗変退色	(変) 4 級以上 (汚) 4 級以上	JIS L 0848 A 法

表-2 中衣生地

項 目		規 格	備 考
混用率		アラミド 94%, ポリエステル 6%	JIS L 1030
組 織		二重織（表：平織/裏：平織）	JIS L 1096
質 量		130±10 g / m ² 以下	JIS L 1096
燃 焼 性	残炎時間	1 秒以下	JIS L 1091 A
	残じん時間	1 秒以下	
	炭化距離	10 cm以下	
透湿度	600 g / m ² ・h 以上		JIS L 1099 B-2

耐 水 圧	初 期	294kPa 以上	JIS L 1092 フィルム面加圧目皿使用
	20 回 洗濯後		
撥 水 性	初 期	4 級以上	JIS L 1092 (スプレー法)
	20 回 洗濯後	3 級以上	

(3) 縫製

ア 一般

- (ア) 各部の縫い合せは良好であること。
- (イ) 縫い飛び、縫い外れの無いこと。
- (ウ) 糸調子は優良で縫い曲がりのないこと。
- (エ) 縫い飾り、地縫いの目数は 2.5 cm 間に 8 針以上とする。
- (オ) 縫い代は約 1 cm とし、縫い始めと縫い終わりは返し針をし、ポケット及びベルト通しは閉止めをすること。

イ 身頃

- (ア) 左前身頃に幅約 11 cm の前立付きとし、前立内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。前額下部に水抜きのための穴かがりを設ける。
- (イ) 右前身頃に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。
- (ウ) 左右前身胸部より裾部にかけて配色を施す。
- (エ) 後身頃は背ヨーク左右部の反射布下端より裾部にかけて前身頃と対になる配色を施す。
- (オ) 裾後身頃は 2 枚仕立てとし、センターベントとする。
- (カ) 左前身にマイクハンガーを取り付ける。
- (キ) 前身頃胸部・袖合わせ部・後身頃背中・裾に反射布を蓄光レーンを用いて縫い付ける。

ウ 衿

- (ア) 表及び裏に表地共布を用いた一枚衿とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いとする。
- (イ) 衿幅は中央部で約 13 cm とする。
- (ウ) 襟付けは防水構造を用いた縫製とする。
- (エ) 襟の前部にはストラップが取り付けられていること。
- (オ) 衿表中央に衿吊りとサイズマークを付ける。

エ 袖

- (ア) 袖は HAD デザインによる付け袖とし、前身頃とはセットイン、後身頃とはラグランにて連結する。脇部分は袖、身頃続きとする。
- (イ) 袖合わせ部より袖口にかけて前後両面に配色を施す。
- (ウ) 袖口より約 17 cm のところにアラミド素材のジャージと透湿防水層を使用したカフを縫い付ける。
- (エ) 袖口より約 1 cm 上に反射布を縫い付ける。

オ ポケット

(ア) 胸ポケットはタテ約 14 cm、ヨコ約 8 cmの三方風巾ポケットとし、雨蓋は中央部 2 分割式とする。

(イ) 脇ポケット本体は配色生地とし、上部は約 4 cmの傾斜を付けた斜めポケット、形状は二方風巾ポケットとし左右に縫い付け、本体色生地を用いた雨蓋付きとする。

(ウ) 雨蓋は面ファスナーを付け、地縫いの上飾り縫いとする。

(エ) 左右のポケット中央下部に水抜き用のハトメ各 1 個を設ける。

カ ベルト通し

(ア) ベルト通しは脇身頃と後身腰部中央の 3 ヶ所に縫い付ける。脇部は配色生地とし、後身頃は本体色生地とする。

(イ) 各ベルト通し上下部に閉止めを施す。

キ 肩当て

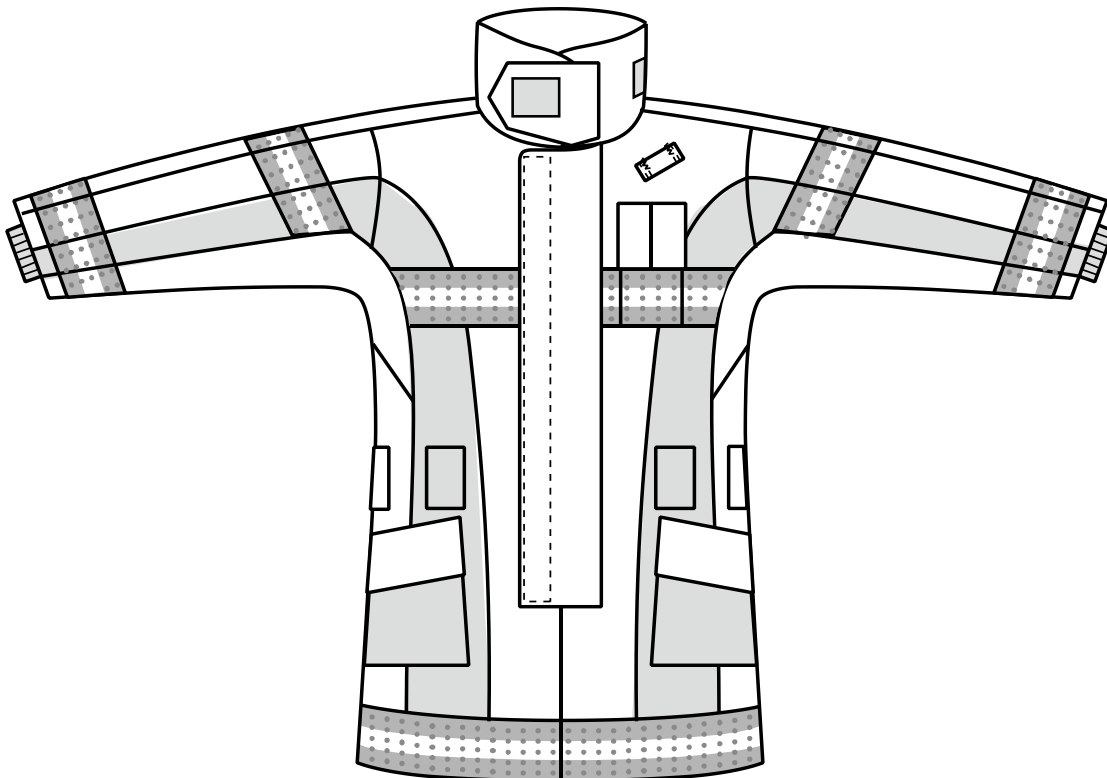
インナー肩部に衝撃吸収用のフェルトを挟み込む。

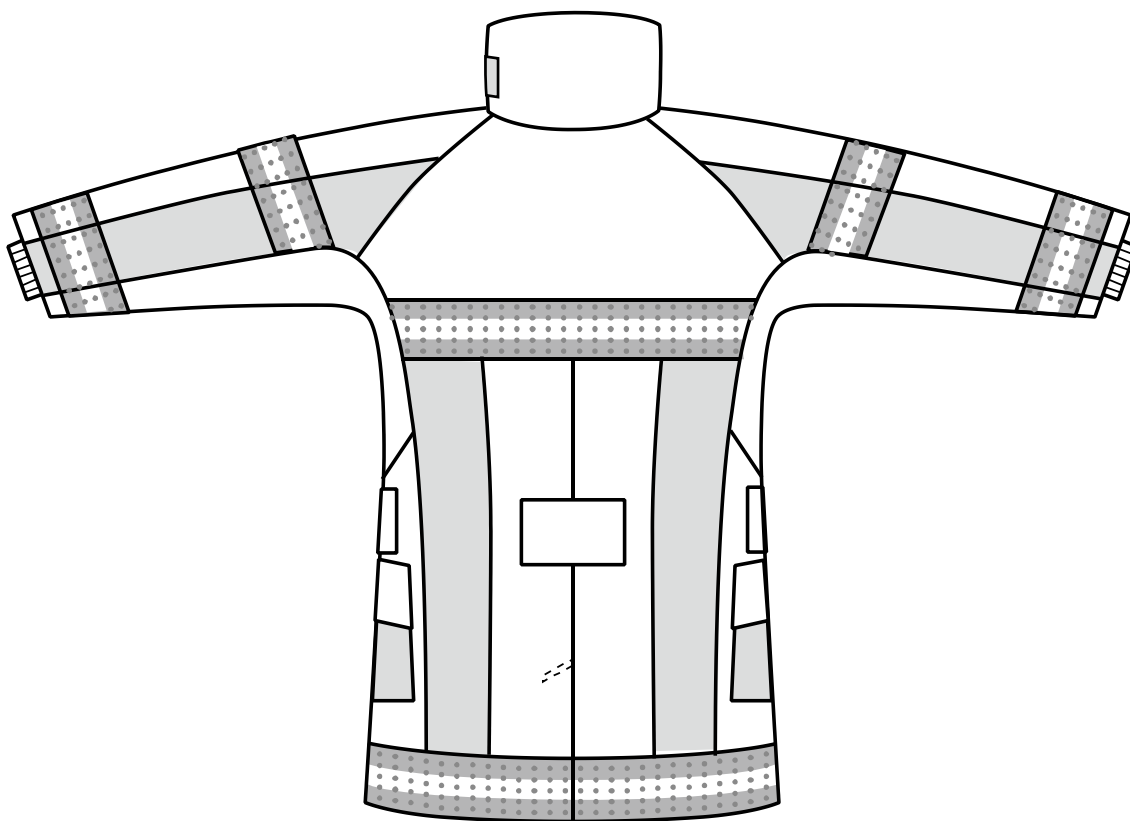
ク 片布

左前身頃見返し部に片布を取り付ける。

ケ 中衣

中衣は見返し、袖口、にて外衣と重ね縫いをし、裾部は面ファスナーにて外衣と連結させる。



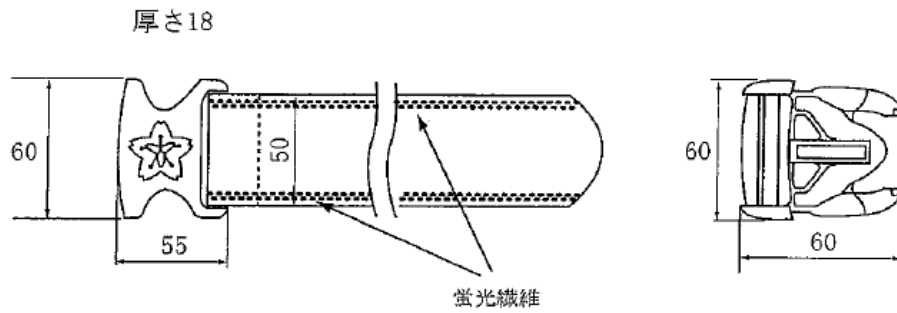


2 防火衣用ベルト T F Vベルト 相当品
規格

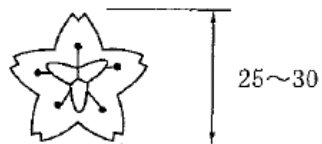
素材名		ナイロン	
組織		2 重平織り	
色及び形状		見本のとおり	
厚さ（mm）		2.6（±5%）	
幅（mm）		50（±5%）	
原糸番手 （dtex）		タテ糸	1400/3
		反射糸	LFU-1200
		綴り糸	1400/3
		ヨコ糸	1100T X 2
密度	本/幅 2.5 cm	タテ糸	120 以上
		反射糸	8
		綴り糸	16
		ヨコ糸	26 以上
質量（g／m）		98 以上	
破断強さ（N）		25 以上	
長さ（cm）		130（±2）　、　150（±2）	
素材名		ポリアセタール樹脂	
形状		別紙のとおり	

(単位：mm、寸法許容差±5%)

バックル・バンド

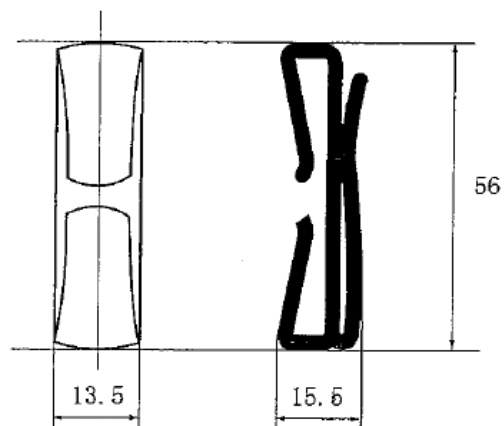


団章（寸法許容差指定外とする。）



厚さ2~5

バンドクリップ



3 防火帽ヘルメット F P - 1 1 9 - B 相当品

	品 名	規 格	用 途
帽 体	本 体	ポリエステル樹脂 (FRP)	帽 体
	掛 け 金 具	真鍮ニッケルメッキ	後部引掛金具
顔面保護材	ポリカーボネイト板	ポリカーボネイト	顔面保護版
	ポリカーボネイト縁枠	塩化ビニール	保護版縁用
	支 持 材	硬質ポリエチレン	保護支持材
着 装 体	衝撃吸収ライナー	発泡スチロール	衝撃吸収用
	ハンモック	ポリエチレン	
	環 紐	ナイロン杉綾織テープ	
	ヘッドバンド	ポリエチレンに塩化ビニール縫い付け	サイズ調整
	ヘッドバンド連結部品	ポリエチレン	
	しころ取付板	ポリエチレン	しころ取付け用
顎 紐	顎 紐	黒色ナイロン 巾18m/m	
	締 金 具	黄銅製	顎紐調整用

(1) 構造一般

- ア 防火帽を着装した状態で上方前面、側面、後部から強い衝撃に対し着装者の頭部を保護できる構造であること。
- イ 顔面保護板を下げた状態で視野を妨げず前方から注水に対して顔面を保護できる構造であること。

(2) 構造

ア 帽体

- (ア) 表面は滑らかで堅牢であり傷、割れ、ひび、しみ、汚れなどの次点がないこと。
- (イ) 帽体の色相は銀色とする。
- (ウ) 帽体後部中央に座金を付した掛金具を取り付ける。

イ 顔面保護板

- (ア) 顔面保護板はポリカーボネイト板のふちに塩化ビニールをほどこし保護できるものとする。また、下げた状態で視野を妨げず且つ前面からの注水に対し顔面を保護するものであること。
- (イ) 保護面は帽体から円滑に引き出せ、引き出した状態でぐらつきを防止する措置を施すこと。

ウ 着装体

- (ア) 帽体内面に取り付け外部からの衝撃エネルギーを有効且つ安全に吸収する。
- (イ) ハンモックは上方からの衝撃エネルギーを有効、安全に吸収すること。
- (ウ) ヘッドバンドは帽体と内装との連結部位の高さに帯状に装着し頭の大きさに応じて側頭部で自由に調節できる構造であること。
- (エ) 衝撃パットは帽体とハンモックの間に装着し、外部からの衝撃エネルギー

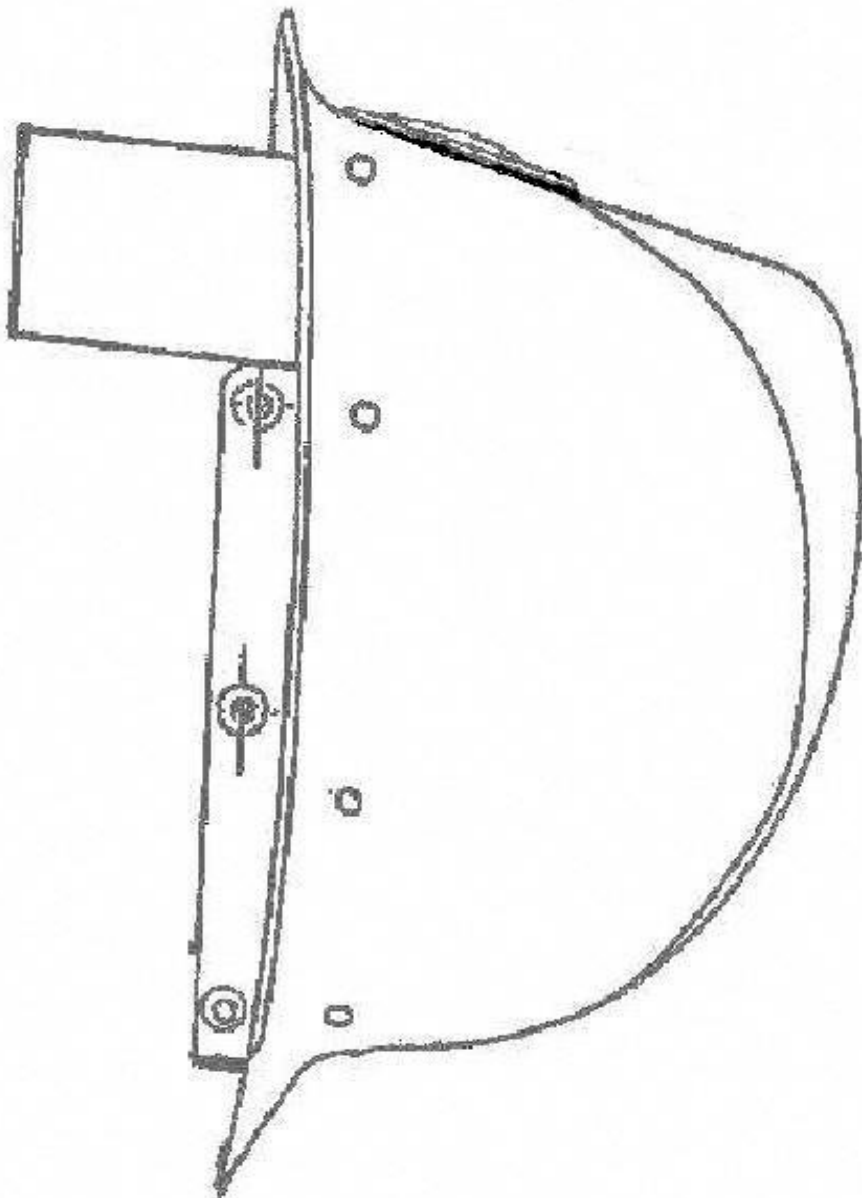
ーを吸収すること。

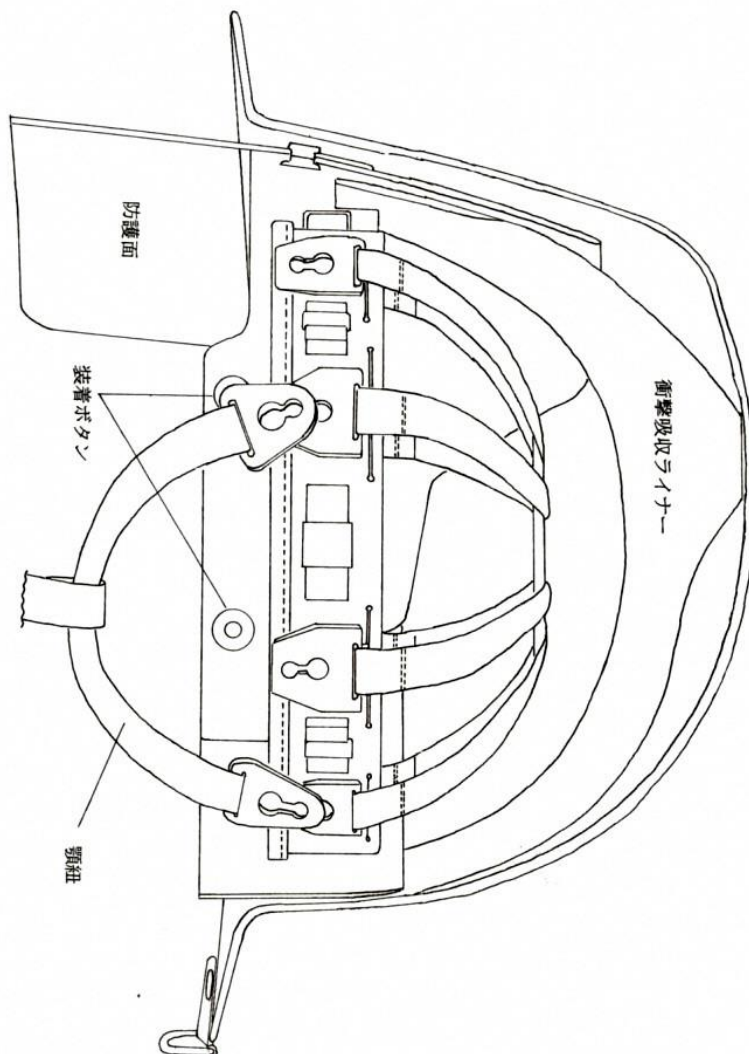
(ウ)しころ取付けプレートは帽体に固定し押しホック（A）を6個取り付けるものとする。

エ 顎紐

(ア)顎紐は帽体に着装体と一緒に固定し、使用中帽体がぐらつかないよう確実に締められるものであること。

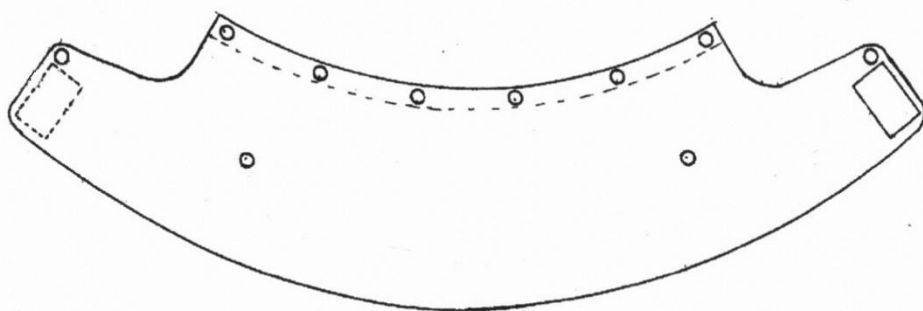
(イ)顎紐締め金具部につまみを付け左側のリング止め部分は完全に縫い付けること。





4 シコロ SP型 相当品

- (1) 外観は概ね図の通りとする。
- (2) シコロの生地は防火服外衣と同一のものとし、一枚裁ちとする。
- (3) 裏面上部へりは綿テープにより補強し、防火帽への取り付け用に6個のDOT釦を取り付ける。
- (4) 前合せ部分は顔面を覆えるように面ファスナーで左右を止められること。
また、折り返し留め用にDOT釦をシコロ左右に取り付けること。



5 防火長靴 T0 シルバーカバー付 相当品

(1) 構造及び名称

本品の構造及び名称は別図に示すとおりである。
但し別図による各部の形状は多少の相違を認める。

(2) 大きさ

本品の大きさは J I S S 5 0 3 7 (ゴム底布靴及び総ゴム靴の標準呼び寸法) に規定する呼び寸法による。

(3) 使用材料

- ア ゴム ゴムはすべて使用目的に適合する様に調整した組成の均等なものでなければならない。
- イ 布 布はすべて密度の均等な使用目的に適合する組織を持つものでなければならない。
- ウ 踏抜防止板 中低部へ鋼板、またはステンレス板を使用する。
- エ 膝カバー 膝カバーの繊維密度及び打ち込みはすべて均質でビニロンまたはポリエステル繊維等の基布の片面にアルミニウム粉末混入の異なる二層からなる合成ゴム層コーティング加工したもので、繊維傷および色ムラなどの欠点がなく、J I S K 6 3 2 8 の規格を満足するものでなければならない。

(4) 品質

本品は形状が均整で、次の各項に適用するものでなければならない。

- ア 底、ヒール、胴、甲その他貼り合わせ部分または貼り付け部分の密着が良好で、ゴム離れ、ゴム浮きなどの欠点がないこと。
- イ 吊り込みが完全であること。
- ウ ゴムの表面に、硫黄が析出していないこと。
- エ 使用上有害な傷、亀裂、巣、気泡、異物混入その他これに類する欠点がないこと。
- オ 目立って外観を損ずるような斑点、汚れ、模様の不鮮明その他の欠点がないこと。
- カ 縫製部分は、縫い曲がり、縫い飛び、縫い外れがないこと。
- キ 付属品の付け方が堅固であること。

(5) 構造

- ア 未加硫のゴム長靴は、全体に特殊銀色塗料による特殊塗装装置を用いて全面塗装し、加硫すること。
- イ 長靴の各部は、各寸法の抜き型を用いて裁断し、一枚一枚肉眼で検査をし、外観上欠点のない材料を使用すること。
- ウ 長靴の成型は、仕様寸法に基づき、各部分を貼り合わせること。
- エ 本底は、プレス加工により、耐久性及び摩擦力にすぐれたものとし、底意匠は、

滑り防止のためのラジアル（吸盤付）型とすること。

- オ 本底踏まず部に浮出しプレスにより、足長及び製造業者名（又は略号）を表示すること。
- カ 爪先の甲表の上部にローレット加工を施した、補強用先ゴムを貼り付けること。
- キ 別図に示す位置に、フロントマークを容易に剥離しないよう貼り付けること。
- ク 靴底は、別図に示す構造とすること。なお、踏み抜き防止のための鋼板またはステンレス板を、巾底と中底の間に接着加工し、J I S 8 1 0 1の規格を満足すること。
- ケ 膝カバーは正しく裁断したシートを腓腹部側で縫い合わせ、内側から幅25m/mの防水用ジョイントテープを貼ること。
- コ 筒状にした膝カバーを裏返して、縫い合わせ部と長靴本体の踵中心上部を合せ、履口部より20m/m下げて履口ゴムテープにそって縫製し、履口ゴムテープの上部までラテックス系接着剤で接着し、巾25m/mの防水用内巻ゴムテープを貼付けること。
- サ 膝カバー筒口（履口部分）に股締めバンド用の平ゴムを力布で覆い押さえ収めること。
- シ 小判型アイレットを外足上部月型部分に付け、吊りバンドを通すこと。
- ス 吊りバンドは、自由に長さを調整し、固定できるものであること。

(6) 形状及び寸法

- ア 厚さ 外底、胴、甲各部の厚さは表－1に適合しなければならない。

表－1 (単位mm)

外 底			胴
不 踏 部	踏付主要部 (山を含む)	踵 部	
2.0以上	7.0以上	25.0以上	1.0以上

- イ 高さ 本品の高さは（表－2）に適合しなければならない。
許容差は±10m/m（総丈：15m/m）とする。
但し左右を1足とする場合の左右差は5mm以内とする。

- ウ 性能 本品は8に規定する試験方法により試験し（表－3）に適合しなければならない。

表－2 (単位 m/m)

外底の試験	引張試験	引張強さ (kgf/c m ²)	90 以上
		伸び (%)	350 "
	老化試験	引張強さの残留分 (%)	80 "
中敷の試験	耐踏抜性試験	踏抜強度 (kgf/c m ²)	112 "

胴及び甲ゴムの試験	引張試験	引張強さ (kgf/c m ²)	1 3 0 "	
		伸び (%)	4 2 0 "	
	老化試験	引張強さの残留分 (%)	8 0 "	
中底の試験	わん曲試験		折損しないこと	
裏地の試験	破裂試験	破裂強さ (kgf/c m ²)	4 "	
トッピングシート	引張試験	引張強さ (kgf/c m ²)	縦	8 "
			横	8 "
		伸び (%)	縦	5 "
			横	5 "

(7) 測定及び試験方法

J I S規格S 5 0 0 5 (長靴)、T 8 1 0 1 (安全靴)、K 6 3 2 8 (ゴム引布) に規定する試験方法を適用するものとする。

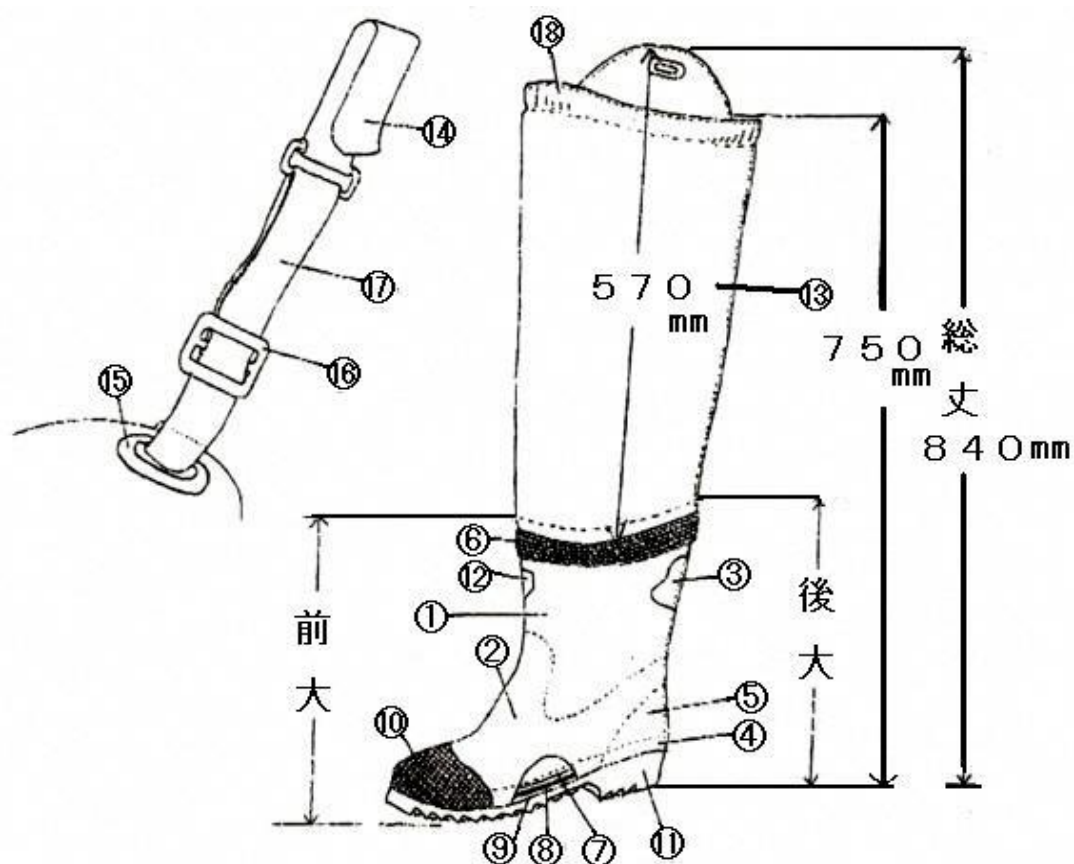
(8) 表示

本製品はつぎの事項を標示しなければならない。

ア 呼び寸法

イ 製造業者 (または略号)

ウ 原産地



番号	部品名	番号	部品名
①	胴ゴム	⑩	爪先ゴム
②	甲ゴム	⑪	外底ゴム
③	裏布	⑫	フロントマーク
④	内補強テープゴム	⑬	膝カバー布
⑤	後胛ゴム	⑭	かけ環
⑥	履口テープゴム	⑮	金属アイレット
⑦	上貼中底ゴム	⑯	バックル
⑧	踏抜防止版	⑰	吊りバンド
⑨	下貼中底ゴム	⑱	股締めバンド

6 ケブラー手袋 エミュファイターGタイプ 相当品

用 途		規 格
本 体	甲側	表側 パラ配向芳香族ポリアミド 100% (ダブルニット) 裏側 メタ配向芳香族ポリアミド 100%
	甲内側	# 4 0 綿 1 0 0 %段ボールニット
	掌側	表側 パラ配向芳香族ポリアミド 100% (ダブルニット) 裏側 綿 100%
	補強材	黄色子牛革裏面使い
袖口開閉止め	面ファスナー	A 面 65mm×40mm B 面 55mm×40mm
甲飾り	甲側	スパンテックス+ 5mm ウレタン、8 コールゴム
マジックテープ	縫製糸	ポリエステルスパン糸 30 番
縁取りテープ		ポリエステルスパン糸 30 番
上記以外の部分		パラ配向芳香族ポリアミド 100% 30 番
袖口補強テープ	縁取り	P U合成皮革 (16mm 巾)
裾部甲補強布		# 4 0 綿スムスシール加工 50mm 巾
カラー		甲側：紺色・オレンジ色 掌側：黄色

(1) 構造

- ア 本グローブはパラ配向 100%の芳香族ポリアミド繊維等を使用し、職員の手に容易に着脱できる構造とする。
- イ 本体はガンカット裁断、縫製を採用し、グローブのダブつきを無くし、装着時にも細かな作業が可能であること。

(2) 縫製

ア 縫製条件

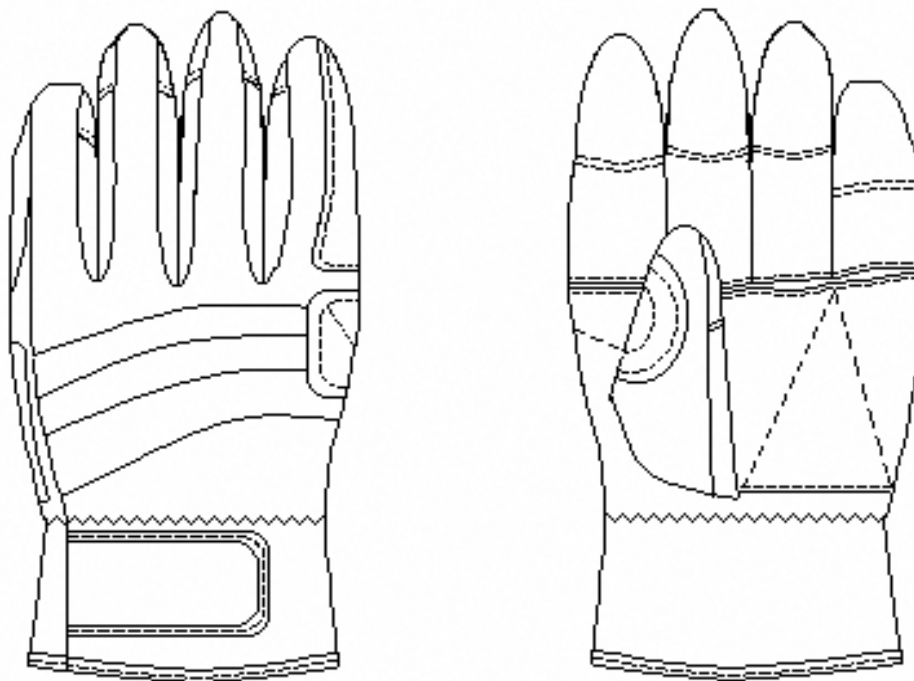
- (ア) 運針数は 2.5 cm間に 10 針以上とする。
- (イ) 縫い代は 3mm 以内とする。
- (ウ) 縫い始め、縫い終わりはすべて返し縫いをする事。

イ 縫製要領

- (ア) 本体縫製は内縫いとする。
- (イ) 袖口部はへり巻をして一線縫いとする。
- (ウ) アテ革は掌側の概略図に示す位置に、子牛裏革をピケ縫いにて取り付けること。
- (エ) 飾りは、甲部、掌部に帯ゴム（８コール）を概略図に示す位置にそれぞれ縫い付け、さらに甲ナックル部内側にспанテックス＋５mm ウレタンで４本曲線飾りをする。
- (オ) 氏名マークは甲側裾部分マジックＢ面の内側に縫い付ける。Ｂ面マジックはスリット部分から約１５mm、裾部から約１０mmの位置に縫い付ける。
- (カ) サイズ札はM、L、LLとしてサイズネームを縫い付けること。
- (キ) 仕上がりは優良で、汚れ、その他欠点が無いこと。

(3) 納品

- １双ごとに遮光袋に入れ、見やすい場所にサイズを明記すること。



7 背文字反射

- (1) 防火衣背面中央に反射で「おいらせ町消防団本団 OIRASE F.V.C」と表示すること。

8 石油交付金表示

- (1) 全部の納入品に名前等が記入できる表示を張り付け、「令和 4 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金施設」と物品ごとに一連番号「1 / 6（総数）・・・6（総数） / 6（総数）」を表示すること。（7 背文字反射を除く）

第 3 同等品条件

上記で示した物品と同等あるいは、それ以上の機能（性能）を有するものとし、同等品を提案する場合は、見積書の提出までに商品カタログ等で十分に説明のうえ、承認を得ること。

第 4 文字記入

防火ヘルメット左右に「おいらせ町消防団」と表示すること。

第 5 検査

本仕様書により納入検査を行う。

第 6 納期

契約締結日から令和 5 年 2 月 28 日まで

第 7 納入先

おいらせ町役場本庁舎（青森県上北郡おいらせ町中下田 135-2 地内）

第 8 納品の保証

検収後であっても、生地、縫製等による不良品は業者がすべて無償で修理又は交換すること。